

### 平成30年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	にんにく生産拡大事業
事業主体 (連絡先)	花とハーブの里にんにく生産組合 090-8326-4375
事業区分	(6)イ農業の振興と農村づくり
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,049,360 円 (うち支援金: 1,638,000 円)

#### 事業内容

- にんにくの生産拡大事業
  - ・チラシを作成し、池田町全地域に回覧し生産の新規勧誘・生産面積拡大に取り組んだ。
  - ・青森県産にんにく種の購入作付け。前年収穫したホワイト6片のにんにくの作付け。地元原産の小谷にんにくの購入作付け。ジャンボにんにくの購入作付け。作付面積は約30a。本年も購入にんにくサイズはLとし、2本株の減少・保存性の向上・品質の安定を狙った。ジャンボにんにくは茎の販売も可能で、病気に強い特徴がある。
  - ・にんにく栽培研修会を実施。農業改良普及センターと連携。また組合員の圃場へ生育状況の確認に廻った。
  - ・にんにくの加工品研究も各組合員が自費で行っている。



【講習会の様子】

#### 【目標・ねらい】

- ①本場の生産地である青森県の気候に似ている安曇野・大北地域で、農家の所得向上と新たな特産品づくりのために、にんにくの生産拡大に取り組む。

#### 事業効果

- ・組合員数は昨年の36名から42名に拡大した。
- ・作付面積は昨年の20アールから約30に拡大した。
- ・発足当時の収穫物よりも、支援金を使った第1回目の収穫(H29年6月)は、大粒の物が収穫できた農家が多かった。植え付け、補水、追肥の技術が向上している。糖度計で計測したところ、40を超えるにんにくもあり、38～40が平均と思われる。

#### ※自己評価【 A 】

【理由】  
平成30年6月の収穫は、前年度に比べて結果はよかった。病気が出ない圃場が多かった。本年も非常に順調に生育している。

#### 今後の取り組み

引き続き安全で美味しいにんにく作りに取り組む。肥料、水管理、雑草管理である。収穫のタイミングと保存方法にも慎重に取り組む。ただし、生での出荷では、ブランド力がまだ弱く、買取価格は青森県産よりも1,000円安い。黒にんにく等への加工品の開発とそれに合った種類のにんにくを栽培も必要と考える。